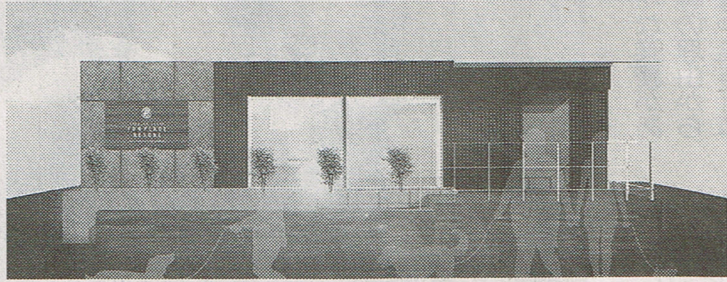


トレーラーハウス活用の新店舗

ラグーナテンボスに開設

Fun Place 好立地で集客効果期待



トレーラーハウスの店舗(イメージ)



牧野浩二社長

同社が初めてトレーラーハウスのトリミングサロンを開設するのは、ラグーナテンボスの商業スペース「フェスティバルマーケット」の広場の一角。車両扱いの同ハウスを設置するため、設置場所の土地を賃借する契約をラグーナテンボスと結んだ。テナント契約を結んで商業施設内に开店するよりも、

開業希望者に販売も

犬の美容室、トリミングサロンをチェーン展開するFun Place (ファンプレイス、本社岡崎市柱、牧野浩二社長、電話0564・833・9949)は8月下旬に、蒲郡市の娯楽施設「ラグーナテンボス」内にトレーラーハウスを活用した新店舗を開設する。好立地による集客効果を見込み、既存店の2倍にあたる年商2千万円を目標に設定した。新店舗をモデルケースにして、開業希望者を対象にした同ハウスの販売事業に乗り出す計画も立てている。

(岡崎・強田裕史)

運営コストを大幅に低減できるという。

店舗用の同ハウスは自社所有で、全長11.5m、車内の面積は25平方メートル。専門メーカーにトリミングサロンの機能と外観を備えた車両として製造するよう発注した。購入費は約500万円。同社は、西三河地区で5店舗を運営しているが、既存店はいずれも、路面店や商業施設に入居するビルイン型店舗だ。

同ハウスを店舗に活用する手法を取り入れたのは、運営コストを低減するほか、撤退時のリスクを最小限に抑えるねらいがある。入居前の状態に戻す改装工事などが発生せず、車両を移動するだけの負担で退去

できるためだ。リスクを抑制することで、集客が見込める場所に積極的に出店することが可能になる。

同社では、同ハウスの店舗運営のノウハウを構築し、店舗を開業したい人に同ハウスを販売する新規事業を計画している。同ハウスのメーカーの販売代理店として出店希望者の窓口となり、要望を聞き出したうえでメーカーに発注するというビジネスモデルを描いている。

牧野社長は「トレーラーハウスでの出店を、店舗開発も手掛けられる企業へと成長するきっかけにした」と話している。